

News Release

西日本電信電話株式会社

平成18年1月26日

「第19回 NTT西日本 N響コンサート」の開催について
～日本を代表するオーケストラ演奏をお手頃な料金で鑑賞いただけます～

NTT西日本 兵庫支店(支店長 戸谷典嗣)では、平成18年3月28日(火)に神戸国際会館において、「第19回 NTT西日本 N響コンサート」を開催いたします。

本コンサートは、弊社が取り組んでいる文化芸術活動を通じた社会貢献活動の一環として、NTTの発足時である昭和60年から開催しており、日本を代表するオーケストラ演奏等を地域の方々へ、お手軽、お手頃な料金で鑑賞いただければと考え、NHK交響楽団の協力を得て開催しています。

1. 開催日時 平成18年3月28日(火) 開場18:00 開演19:00
2. 会場 神戸国際会館(神戸市中央区御幸通8-1-6)
3. 出演 管弦楽: NHK交響楽団 (別紙1参照)
指揮者: ギュンター・ビヒラー (別紙2参照)
ピアノ: パスカル・ドヴァイヨン (別紙3参照)
4. 曲目 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466
モーツァルト/交響曲 第41番 ハ長調 K.511 「ジュピター」
5. 入場料 S席: 5,000円 A席: 4,000円 B席: 3,000円(各消費税込み)
6. 入場券発売日 平成18年1月28日(土)
7. 前売り場所 神戸国際会館プレイガイド、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス
8. 主催 NTT西日本 兵庫支店
9. 協賛 NTTマーケティングアクト兵庫、NTTネオメイト兵庫
10. 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、神戸商工会議所、NHK神戸放送局
11. お問い合わせ先 NHKプロモーション 03-5790-6422(平日10:00~17:00)
NTT西日本 兵庫支店 078-326-6365(平日10:00~17:00)
12. その他 本コンサートは、弊社フレッツご利用者専用ブロードバンドコンテンツサイト「フレッツ・スクウェア」でライブ中継を行う予定です。

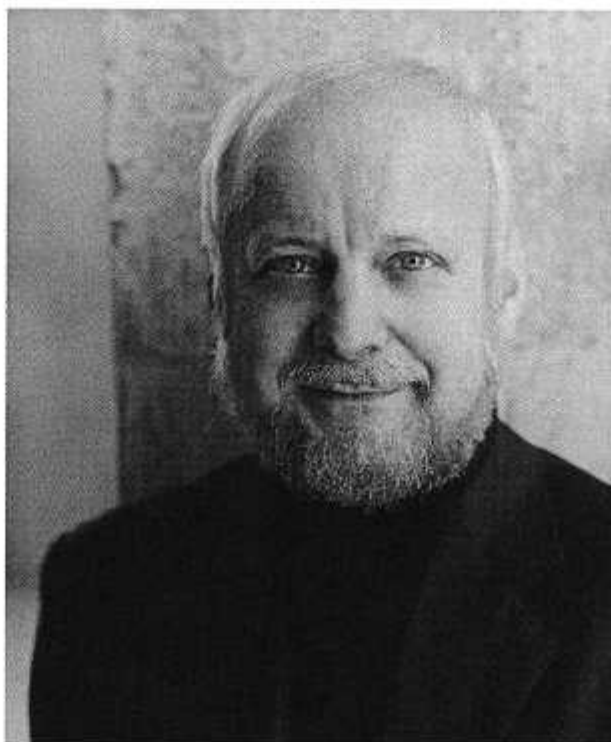
NHK交響楽団 (NHK Symphony Orchestra, Tokyo)

NHK交響楽団の歴史は、1926年に日本初のプロ・オーケストラとして結成された新交響楽団に遡る。その後、日本交響楽団の名称を経て、1951年NHK交響楽団と改称。今日に至るまで、カラヤン、ストラヴィンスキー、アンセルメ、マタチッチなど世界一流指揮者を次々と招聘し、歴史的な名演を残している。

現在は、音楽監督ウラディーミル・アシュケナージ、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠名誉指揮者ヴォルフガング・サヴァリッシュ、名誉指揮者オットマール・スウィトナー、ホルスト・シュタイン、ヘルベルト・ブロムシュテット、正指揮者 岩城宏之、外山雄三、若杉弘を擁し、年間約120回のコンサートを開催。また、1960年以来の定期的な海外公演、セミ・ステージ・オペラなどの斬新な企画、委嘱作品の充実、メジャー・レーベルとのCD録音など、その活動と演奏は国際的にも高い評価を得ている。



ギュンター・ピヒラー (Günter Pichler)



© EMI CLASSICS 21M03400 ABQ PHOTOGRAPHER: SHEILA ROCK

ギュンター・ピヒラーは、15歳でウィーン音楽大学に入学、18歳のときにはウィーン交響楽団のリーダーに任命された。21歳で、ヘルベルト・フォン・カラヤンによりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のリーダーに抜擢された。1970年には、アルバン・ベルク四重奏団を結成し、以来、この名声ある四重奏団を率いている。

ギュンター・ピヒラーは、アルバン・ベルク四重奏団での活動だけでは尽くすことができない音楽上のアイディアを表現する可能性をさらに広げるために、指揮者としての活動を開始。1989年1月ウィーン・コンツェルトハウスにおけるウィーン室内管弦楽団との公演で指揮者としてデビューした。

日本では1991年7月サントリーホールでNHK交響楽団モーツァルト・シリーズの一公演を、1993年8月には東京フィルハーモニー交響楽団を指揮した。また、1994年と1996年、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズと二度の日本ツアーを行い、1997年にも同楽団の英国祭参加のコンサートを指揮している。

1999年および2000年にギュンター・ピヒラーは、イタリアでトスカーナ管弦楽団およびイタリア弦楽オーケストラを指揮し、アイルランド室内管弦楽団とアイルランド公演旅行を行うほか、ウィーン室内管弦楽団を指揮、アンサンブル・オーケストラ・ド・パリを指揮してシャンゼリゼ劇場およびシャトレ座で公演した。2001年からオーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクターに就任した。以後毎年約10回のコンサートを指揮、着実に成果を上げている。

パスカル・ドヴァイヨン



ヴィオッティ、ブゾーニ、リーズといった世界におけるトップクラスのコンクールの多くで受賞したパスカル・ドヴァイヨンが世界中で知られるようになったのは、1978年にモスクワのチャイコフスキー・コンクールで銀賞に輝いてからだった。そしてそれはこの名高いコンクールでフランス人ピアニストがかつて成し遂げたなかで最高の賞であった。

パスカル・ドヴァイヨンはロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団、モントリオール交響楽団や東京のNHK交響楽団といったオーケストラと共演し、ピシュコフ、デュトワ、クリヴィヌやザンデルリンクのような多くの偉大な指揮者とともに舞台に立ってきた。

ドヴァイヨンがニューヨークのカーネギー・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのフィルハーモニー・ホールやロンドンのクイーン・エリザベス・ホールで、行ったリサイタルは、いずれも高く評価された。毎シーズン日本に招かれ、その主要なホールで演奏している。彼のレパートリーは広範囲で多岐に渡っており、ベートーヴェンのピアノソナタ全曲シリーズ、バルトークやメシアンといった主な20世紀の作品と現代の作曲家たちの作品を演奏している。

後進の指導にも力をそそぎ、パリ音楽院、ベルリン芸術大学、ジュネーヴでも教えている。

2001年に彼はフランスで名誉ある称号、国家功労勲章 シュバリエ (Chevalier dans l'Ordre National du Merite) を授かった。